

令和2年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	実務経験のある 教員による授業 科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
37201	社会福祉論 Social Welfare	金 仙玉		基礎	2	選択	1・2前期
科目の概要							
<p>社会福祉は、社会で生み出されてくる生活問題に対応して、国民の生存権を保障するための活動として存在しています。社会福祉の対象は国民である私たちです。身近な話題から講義をすすめていきます。</p> <p>社会福祉と生活問題を兼ね合わせて考えたり、福祉現場で働いたり、福祉の対象者と接するときに、役立つようしていきます。社会福祉の立場からみた人間観、対象の理解の仕方を学習し、次に、社会福祉の制度・政策・実践方法について学習していきます。日本が抱える社会的課題を身近な問題として取り扱い、その解決方法を論理的かつ科学的思考に基づいて模索する過程を通じて、広い視野と柔軟な思考を身につけ、独自の発想や表現ができる力を身につける。</p>							
学修内容				到達目標			
<p>① 社会福祉の理念や思想を学ぶ</p> <p>② 社会福祉の歴史を紐解き、今日の制度の在り方を考える。</p> <p>③ 社会福祉実践の基本を学ぶ。</p> <p>④ 社会福祉の具体的な実践や手法を学ぶ。</p>				<p>① 社会福祉の理念や思想について説明できる。</p> <p>② 社会福祉の歴史的背景や現行制度の設計意図が説明できる。</p> <p>③ 社会福祉実践の具体例を1つでも説明できる。</p> <p>④ 社会福祉の具体的な実践の意図について説明できる。</p>			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏 み出す 力	主体性	自らの知識や技能を振り返り、不足している点を克服しようと努力することができる					
	働きかけ力						
	実行力	社会情勢に関心を持ち、自ら調べたり、発見することができる。					
考え抜 く力	課題発見力	課題を発見し、それを克服しようと努力したり、克服することができる。					
	計画力						
	創造力	対象者の可能性や、必要な支援を創造できる					
チーム で働く 力	発信力	自らの考えを他者に対して適切に発信できる。					
	傾聴力	価値観の違う他者からの発信を受け入れることができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	他者の意見を遮ったり、批判したり、否定することなく、尊重しあうことができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
<p>テキスト：「介護職員初任者テキスト」長寿社会開発センター 一巻</p> <p>参考文献：なし</p>							
他科目との関連、資格との関連							
<p>他科目との関連：介護概論、介護実務、生活支援技術ⅠⅡ、</p> <p>資格との関連：介護職員初任者研修課程</p>							
学修上の助言				受講生とのルール			
<p>授業では講義内容を示したプリント（レジュメ）やパワーポイントを準備します。レジュメには随所に自ら書き入れる箇所を設けますので、講義で示した内容を書き込むようにしましょう。</p>				<p>新聞や電子媒体等を通じて社会福祉の動きに関心を持ちましょう。またグループディスカッションでは積極的に意見交換を行ってください。授業を欠席した場合は、欠席回数分の課題をレポートにまとめ提出すること。（必須）</p> <p>※学習状況によっては講義計画を変更することがあります。</p>			

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験 筆記(レポート含む)・実技・口述試験	70	①	✓	次の到達レベルを持って合格の基準とする。 ・介護保険制度・障害者総合支援法・生活保護法について説明ができる・・・S ・社会保障制度の仕組みが理解できる・・・A ・社会保障制度に関する基本的な知識が理解できる・・・B ・介護保険制度に関する語句がわかる・・・C ・Cのレベルに達していない・・・F
			②	✓	
			③	✓	
			④	✓	
			⑤		
	小テスト	10	①	✓	全10問の小テストを実施し、過去の学修の確認を行う。1問1点で構成され、終了後提出する。5肢択一方式もしくは短文記述形式を基本とし、担当教員が作成する。
			②	✓	
			③	✓	
			④	✓	
			⑤		
	レポート	10	①		適宜、提示する課題に提出状況を加味する
			②		
			③		
			④		
			⑤		
平常評価 成果発表(プレゼンテーション・作品制作等)		①			
		②			
		③			
		④			
		⑤			
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10	①		「主体性」不明な点は質問をしたり、文献を紐解くなどして自己解決のための努力ができること。 「実行力」自ら目標を設定し、到達に向けた努力ができること。 「課題発見力」日頃から福祉領域に対する関心を持つことができ、関連する社会的課題を発見することができること。 「想像力」社会的課題に対して、自分なりの解決方法を想像することができること。 「発信力」意見交換やグループディスカッション内で聞き手にわかりやすく伝えることができること。 「傾聴力」意見交換やグループディスカッション内で話し手の意見を十分に聞くことができること。 「規律性」無断欠席、遅刻、私語など、授業に支障を来す行動をせず、ルールを遵守した行動ができる。
			②		
			③		
			④		
			⑤		
総合評価 割合		100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
① 社会福祉の理念や思想について説明でき、それに対する自らの意見を論理的に発信できる。 ② 社会福祉の歴史的背景や現行制度の設計意図が説明でき、それに対する自らの意見を論理的に発信できる。 ③ 社会福祉実践の基本的理解ができ、それを現場実践に応用(発展)させて理解することができる。 ④ 社会福祉の具体的な実践、手法が理解でき、それについて自らの意見を論理的に発信できる。 ※総合的判断として、90点以上をS(秀)、89~80点を(A)とする。	① 社会福祉の理念や思想について説明できる。 ② 社会福祉の歴史的背景や現行制度の設計意図が説明できる。 ③ 社会福祉実践の基本的理解ができる。 ④ 社会福祉の具体的な実践、手法が理解できる。 ※総合的判断として、79~70点をB(良)、69点~60点を(C)可とする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	「介護保険制度 背景と目的」介護保険制度の創設の背景、経緯、施行後の状況、介護保険制度の目的等を学ぶ。	資料を使った講義	介護の社会化の必要性や介護保険制度創設の理由を学び、予防重視型システムへの転換、地域包括ケアシステムの推進といった介護保険制度の新しい方向性を理解する。	「介護保険制度の背景と目的」についてノートで必ず復習をする。	1 8 0	主体性 規律性 傾聴力
2週 /	「介護保険制度 仕組みと理解」介護保険制度の基本的な仕組み、保険給付とその種類について学ぶ。	資料とレジュメを使用した講義 ディスカッション	保険者、被保険者、受給権者、保険給付などの介護保険制度の基本的な仕組みを理解する。課題レポート①	レポート課題① 「介護保険制度の創設の背景と現在の状況について」4回目の授業日に提出。(手書き不可)	1 8 0	規律性 傾聴力
3週 /	「介護保険制度 仕組みと理解」要介護・要支援の認定、利用者負担、地域支援事業等について学ぶ。	資料とレジュメを使用した講義 ディスカッション	認定の申請から認定調査、介護認定審査会による審査判定、結果の通知にいたる手続きを理解し、介護給付の種類、予防給付の種類、利用者負担、地域支援事業と地域報償支援センターの役割を理解する。小テスト①	授業の振り返りをする。 次回授業の「サービス利用」について予習する。	1 8 0	規律性 傾聴力
4週 /	「介護保険制度 サービス利用」制度を支える組織・団体の機能と役割、財源について学ぶ。	資料とレジュメを使用した講義 介護保険がもたらした効果についてディスカッション	制度を支える組織・団体の全体像、サービス提供事業者、会議支援専門員の役割介護サービス情報の公表、介護保険事業計画、介護の県財政等を理解する。	制度を支える組織・団体の全体像について復習をする。	1 8 0	規律性 傾聴力
5週 /	「介護と医療の連携について 介護と看護」医療行為と非医療行為と医療・看護職とのチームケアについて学ぶ。	資料とレジュメを使用した講義	医療・看護の役割、チームケアの必要性、看護との連携の必要性を学び、看護師と介護職の連携の現状・課題、チームにおける役割分担を学習する。	医療・看護の役割について復習をする。	1 8 0	規律性 傾聴力
6週 /	「介護と医療の連携について リハビリテーション」リハビリテーションの理念と目的、医療の過程等について学ぶ。	配布資料とレジュメに沿った講義 復習内容の発表と全体考察	リハビリテーションの理念、目的や事例を通して、脳卒中モデルの急性期、回復期、維持期のリハビリテーションの流れについて理解する。	リハビリテーションの理念、目的について復習をする。 次週、振り返り小テスト②あり。	1 8 0	規律性 傾聴力
7週 /	「児童と福祉」子どもをとりまく環境、現代の家庭についての統計を考察し、こどもと福祉制度を説明していきます。虐待問題についてもとりあげる。	配布資料とレジュメに沿った講義 復習内容の発表と全体考察	子どもをとりまく環境を理解し、児童福祉法について理解する。小テスト②	児童福祉法について復習をする。	1 8 0	規律性 傾聴力
8週 /	「社会保障制度、生活保護、年金」高齢者の身体・精神・社会面を理解し、高齢者をとりまく諸問題について解説します。孤独死についても考えていく。	配布資料とレジュメに沿った講義	高齢者の身体・精神・社会面を理解する。 高齢者をとりまく諸問題について理解する。	レポート課題② 「4つの社会保障制度について」10回目の授業日に提出。	1 8 0	規律性 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	「生活保護」 国民の最低限の生活を守る セイフィネットである生活 保護法について説明をす る。	配布資料とレジ ュメに沿った講義 復習内容の発表と 全体考察	生活保護法制度の概要 を理解する。 課題レポート②	生活保護法につい て復習する。 次週、小テスト③ あり。	1 8 0	規律 性 傾聴 力
10週 /	「障害者の自立と社会参 加」	配布資料とレジ ュメに沿った講義 復習内容の発表と 全体考察	障害者の自立と社会参 加の意義と役割を理解 し、ノーマライゼー ション思想の概要を理 解する。小テスト③	ノーマライゼー ション思想の概要 について復習す る。「ICF」につ いて予習する。	1 8 0	規律 性 傾聴 力
11週 /	「ICF、障害の理解」 国際生活機能分類(ICF)の生 活機能構造モデルを学習す る。	配布資料とレジ ュメに沿った講義、 ペアワーク ディスカッション	国際生活機能分類に書 かれている「生活機 能」、「心身機能・身 体構造」「活動」「参 加」等について理解す る。	「ICF、障害の理 解」を復習する。	1 8 0	規律性 傾聴力 主体性
12週 /	「障害者施策の概観」 法制度の理念と障害の概念 を学ぶ。	配布資料とレジ ュメに沿った講義、 ペアワーク ディスカッション	障害者福祉関連法制度 と法的根拠を理解す る。	障害者福祉関連法 制度と法的根拠を 理解する。	1 8 0	規律 性 傾聴 力 主体 性
13週 /	「障害者総合支援法」法理 念の概要や仕組みを学ぶ。	配布資料とレジ ュメに沿った講義 レポート課題提出	障害者総合支援法の目 的および概要について 理解する。小テスト④	障害者総合支援法 の目的および概要 について復習す る。	1 8 0	規律 性 傾聴 力
14週 /	「個人の権利を守る制度」 個人情報保護法、成年後見 制度について学ぶ。	配布資料とレジ ュメに沿った講義 復習内容の発表と 全体考察	個人情報保護法、成年 後見制度を取り上げ、 個人情報の保護と活用 のルールや法廷後見制 度、任意後見制度につ いて理解する。	個人情報保護法、 成年後見制度につ いて復習する。次 週は授業の振り返り として筆記試験 (まとめ)を行う。	1 8 0	規律 性 傾聴 力
15週 /	「個人の権利を守る制度」 日常生活自立支援事業につ いて学ぶ。	講義	判断能力が不自由な人 の生活を支援する日常 生活自立支援事業につ いて理解する。	授業の振り返りと して筆記試験(ま とめ)を行う。	1 8 0	創造力 課題発 見力 規律性 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力